



～活動の芽を育てよう！Yes！はじまりの合図～

eyes *あいず*



中田 ひとみさん

中田さんは、熊本大学在学中に、アメリカに留学して英語を習得し、その後、小学校教師を経て、JICA（独立行政法人 国際協力機構）の海外青年協力隊に参加し、開発途上国である南米のペルーで支援活動に従事したそうです。

日本に戻ったあとも、JICAの外国人技術研修員の受け入れをコーディネートする仕事や通訳・翻訳の仕事もされています。



講座の様子



中田さんとブライアンさん

“英語”を使って国際交流！広がる世界！

今回、表紙を飾っていただいた中田さん。明るい笑顔と流ちょうな英語、そんな英語の達人にお話しをさせていただきました。



「キナーから」

達人まで

一つ。講座では、社会的話題をとりあげて、英語だけの学習にならないように心がけています。」

中田さん、イギリス出身のブライアンさん、上級者のアドバイスがあるので、初心者でも安心。



テーブルに分かれてレッスン！

「英語が上達するには、日頃から少しずつでも英語にふれること。日本人の多くは英語のペーパードライバミみたいなもの。聞く・話すの練習で使える英語になっけていきます。」

「それに、日常会話には、中学生で習う5文型ができれば十分！複雑に見える文章も、主語と述語（動詞）、目的語などを判別できれば単純に見えてきます。まず、しっかりと5文型。それから単語を増やしていく。」と上達のコツを教えてくださいました。



国際交流都市へ

中田さんは、「英語を話せる人が増えれば、国際交流の機会も増えるかもしれません。外国人にとっても開かれた都市になるでしょうし、熊本市がもっと魅力的になると思います。」

「日本の若者は内向きになりすぎ。もっと海外に目を向けて欲しい。どんどん海外に出ていって国際競争力を身につけて、知識、情報など学んだことを日本にもって帰って欲しい。熊本市から世界に通用するような人材が育って欲しいと思っています。」と熱く語ってくれました。



英語を学ぶ過程において試験の成績は、最終目標ではありません。それは自分の能力を知る一つの目安。英語を学び、使い続けることで、人間関係が広がり、世界観が豊かになっていく、中田さんの講座に参加すれば英語学習の本当の意義を実感できるかも。



座談会の風景



ハツ塚としえさん

ゆのはら産婦人科で出産したママ達が主体の育児サークル「ハグ」。今回はその代表を務めていらっしやるハツ塚としえさんにお話を聞きました。

それは自然な
なごゆわい...

◆第一子を出産し三ヶ月後にはサークル活動を始めたハツ塚さん。いち参加者から世話人、そして代表者へ。それは自然ななりゆきだったそうです。

「いち参加者として活動するのは楽しいのですが、サークルでお世話になるだけでは申し訳ないと思って、片付けを手伝うことから徐々に始めたんです。何か自分にできることをと、チヨットずつお手伝いをしている時にお世話役をやってみませんか。と誘われて断る理由がなかったのです。」とハツ塚さん。三年目には代表を務めるまでに。

ママ達の心に
寄り添いながら

◆人との出会いから

悩みが解決すること...

ハツ塚さんのサークル活動中の様子は、とてもリラックスしていて自然体。子ども達をあやしなから、遊ばせながらの司会進行。ママ同士の座談会では初めて参加する方がサークルになり易いようにそれぞれの方の自己紹介を盛り込み、和んできたところで子育ての話へ。その中で子育ての悩みや不安を話す人がいると、その場に

いる先輩ママの経験を生かし、お子さんとどう関わっていったか体験を聞き、専門的な見解が必要な場合は助産師さんに助言を求めます。

「座談会の時間は、特に大切にしています。他の場所ではなかなか話せないことでも、同じ育児の悩みをもつ人達がいることを知り、専門家の意見を聞く機会を得ることで、『悩んでいるのは自分だけじゃないんだ。ここだったらチヨット悩みを話してもいいかな。』と思えるような雰囲気作りを心がけています。」

ママ達の心に寄り添い、悩みが少しでも解消できればという心遣いが伝わってきました。

踏み出して
踏み出して

◆子育て中のママ、未来のママ達へ...

「お母さんの元氣次第で子育ては左右されますね。家で子どもと過ごす時間も大切だけれど、外の世界と触れ合い、興味関心が共通している人達と話をすることで、育児の悩みを分かち合い、解決できることも。そんな時間は心にゆとりをもたらすし、育児を楽しむ余裕につながるそうです。」

また、子ども達と触れ合うことで、出産経験がない方も将来子どもを

もった時のことを想像してみることで、勉強になるとのこと。

「ママ達力を集めるとすごい仕事ができるんじゃないかと思えます。皆さんママになる前は様々なキャリアや経験をおもちなので、集まってみると結構色んなことができるんです。」今のサークル活動でもママ達の色んな才能が発揮され、サークル誌の発行やイベントの企画・運営など、上手いことが随分あったそうです。

『私ってやってみたら、こんなこともできるんだ!』とか、『こんなことも好きかもしれない!』とまわりのママ達との協力で意外な自分を発見できるということもあるので、「サークルに参加するのは初めてなのでチヨット不安。」「自分は何もできないけど...。」と思っている方、「勇気を出して一歩踏み出してみたい。」「と心強い言葉をいただきました。

講座の様子



ハツ塚さんが自然体だから、ママたちも気負わずリラックスしてサークルに参加できるんですね!!

"reported by Nozoe"

〒862-0971 熊本市大江5丁目1番1号 熊本市総合保健福祉センター ウェルパークまもと1階

熊本市市民活動支援センター・あいぽーと 電話 096(366)0168 FAX 096(366)8830

〒860-8601 熊本市手取本町1番1号 熊本市役所12階

熊本市市民協働推進課 電話 096(328)2036 Eメール shiminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp

eYesとは...

みなさんの目(視点・感性・思い)から生まれる活動(芽)に焦点をあてる情報誌です。